

平成19年10月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成19年8月30日

上場会社名 ファースト住建株式会社 上場取引所 大証二部
 コード番号 8917 URL <http://www.f-juken.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 雄司 TEL (06) 4868-5388
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 松下 弘和

(百万円未満切捨て)

1. 平成19年10月期第3四半期の業績（平成18年11月1日～平成19年7月31日）

(1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
19年10月期第3四半期	35,632 15.6	3,010 △2.3	2,939 △3.3	1,760 △1.7
18年10月期第3四半期	30,821 23.8	3,080 3.6	3,038 4.3	1,791 3.4
18年10月期	43,258 —	4,436 —	4,406 —	2,607 —

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年10月期第3四半期	104 15	— —
18年10月期第3四半期	105 99	— —
18年10月期	154 27	— —

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年10月期第3四半期	27,808	13,341	48.0	789 46
18年10月期第3四半期	29,009	11,103	38.3	657 02
18年10月期	30,293	11,919	39.3	705 30

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年10月期第3四半期	3,297	△49	△2,621	8,284
18年10月期第3四半期	△3,198	△221	5,531	7,297
18年10月期	△1,835	△243	4,552	7,658

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	中間期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
18年10月期	10	00	10	00	20	00
19年10月期	10	00			22	00
19年10月期（予想）			12	00		

3. 平成19年10月期の業績予想（平成18年11月1日～平成19年10月31日）【参考】

(%表示は、通期は対前期，中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	46,000	6.3	3,600	△18.9	3,550	△19.4	2,100	△19.5	124	26

4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明，その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の招来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際に業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

なお、通期の業績予想に関する事項につきましては、本日平成19年8月30日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

不動産業界をとりまく環境は、地価上昇からくる住宅需要の顕在化等により需要は底堅く推移しているものの、個人消費の回復が限定的であることから販売価格の上昇は見られない反面、競争の激化並びに地価や資材価格の上昇等によりコストが増加する傾向となっており、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の中で、当社は主力事業である戸建分譲事業の事業エリアを拡大し、販売棟数を増加させることで増収、増益を目指し、平成19年10月期には、奈良県下に初となる奈良支店を開設するなど戸建分譲住宅の販売棟数増加に取り組んでまいりました。これらの取り組みにより、当第3四半期における売上高は順調に増加いたしております。しかしながら、平成19年10月期中間期以降、分譲用地の価格上昇に加え、当社におきましても建築コストの上昇傾向が表れ始めてまいりました。また、当社では長期滞留在庫となる販売物件を持たない方針で取り組んでおり、そのために市場の需要を重視した販売価格の設定を行っているため、これらのコスト上昇の販売価格への転嫁が思うように進まず、利益率が低下する状況となっております。

これらの結果、当第3四半期における業績は、売上高356億32百万円（前年同四半期比 15.6%増）、営業利益30億10百万円（同 2.3%減）、経常利益29億39百万円（同 3.3%減）、四半期純利益17億60百万円（同 1.7%減）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における総資産は278億8百万円、純資産は133億41百万円、自己資本比率は48.0%となりました。

また、当第3四半期末における現金及び現金同等物は82億84百万円となり、前期末に比べて6億25百万円増加しております。各キャッシュ・フローの状況と要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、32億97百万円となりました。主な要因は、税引前四半期純利益29億89百万円、たな卸資産の減少額26億69百万円、前渡金の減少額4億19百万円、法人税等の支払額19億44百万円、仕入債務の減少額7億81百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、49百万円となりました。主な要因は有形固定資産の取得による支出35百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、26億21百万円となりました。主な要因は、短期借入金の純減少額22億94百万円、配当金の支払額3億27百万円であります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成19年10月期における通期の業績予想につきましては、当第3四半期までの業績の推移から修正を行っております。なお、通期の業績予想に関する具体的修正内容につきましては、本日平成19年8月30日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準については見積実効税率を使用しております。

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

当期から法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降取得の固定資産については、改正法人税法に規定する償却方法により、減価償却費を計上しております。

5.（要約）四半期財務諸表

(1)（要約）四半期貸借対照表

（単位：千円未満切捨，％）

科 目	前年同四半期 （平成18年10月期 第3四半期末）	当四半期 （平成19年10月期 第3四半期末）	増 減		（参考） （平成18年10月期）
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
	千円	千円	千円	％	千円
（資産の部）					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	7,297,185	8,284,260	987,074	13.5	7,658,340
2. たな卸資産	19,893,689	18,254,090	△ 1,639,599	△ 8.2	20,952,055
3. 前渡金	869,216	267,644	△ 601,571	△ 69.2	687,100
4. その他	130,410	159,836	29,426	22.6	168,336
流動資産合計	28,190,502	26,965,832	△ 1,224,670	△ 4.3	29,465,833
II 固定資産					
1. 有形固定資産	684,523	719,119	34,595	5.1	688,312
2. 無形固定資産	24,027	31,906	7,879	32.8	23,707
3. 投資その他の資産	110,254	91,740	△ 18,514	△ 16.8	115,424
固定資産合計	818,805	842,766	23,961	2.9	827,445
資産合計	29,009,308	27,808,599	△ 1,200,709	△ 4.1	30,293,278
（負債の部）					
I 流動負債					
1. 支払手形	2,069,130	390,010	△ 1,679,120	△ 81.2	1,781,150
2. 支払信託	—	1,866,290	1,866,290	—	806,170
3. 工事未払金	2,189,857	2,068,491	△ 121,366	△ 5.5	2,518,764
4. 短期借入金	12,513,000	9,261,000	△ 3,252,000	△ 26.0	11,555,000
5. 未払法人税等	489,269	303,576	△ 185,692	△ 38.0	1,073,265
6. 前受金	223,732	167,512	△ 56,219	△ 25.1	222,353
7. その他	342,776	380,858	38,081	11.1	334,976
流動負債合計	17,827,765	14,437,738	△ 3,390,027	△ 19.0	18,291,679
II 固定負債					
1. 退職給付引当金	20,799	29,305	8,506	40.9	22,197
2. 役員退職慰労引当金	57,300	—	△ 57,300	—	60,000
固定負債合計	78,099	29,305	△ 48,794	△ 62.5	82,197
負債合計	17,905,865	14,467,044	△ 3,438,821	△ 19.2	18,373,876

科 目	前年同四半期 (平成18年10月期 第3四半期末)	当四半期 (平成19年10月期 第3四半期末)	増 減		(参考) (平成18年10月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資本の部)					
I 資本金	1,584,000	—	—	—	—
II 資本剰余金	1,338,350	—	—	—	—
III 利益剰余金	8,181,688	—	—	—	—
IV 自己株式	△ 595	—	—	—	—
資本合計	11,103,443	—	—	—	—
負債及び資本合計	29,009,308	—	—	—	—
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	—	1,584,000	—	—	1,584,000
2. 資本剰余金	—	1,338,350	—	—	1,338,350
3. 利益剰余金	—	10,419,842	—	—	8,997,646
4. 自己株式	—	△ 637	—	—	△ 595
株主資本合計	—	13,341,555	—	—	11,919,401
純資産合計	—	13,341,555	—	—	11,919,401
負債・純資産合計	—	27,808,599	—	—	30,293,278

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円未満切捨，%)

科 目	前年同四半期 (平成18年10月期 第3四半期)	当四半期 (平成19年10月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成18年10月期
	金 額	金 額	金額	増減率	金 額
	千円	千円	千円	%	千円
I 売上高	30,821,375	35,632,341	4,810,965	15.6	43,258,915
II 売上原価	25,944,027	30,586,812	4,642,784	17.9	36,317,508
売上総利益	4,877,348	5,045,529	168,180	3.4	6,941,407
III 販売費及び一般管理費	1,797,231	2,035,350	238,119	13.2	2,504,478
営業利益	3,080,117	3,010,179	△ 69,938	△ 2.3	4,436,928
IV 営業外収益	3,704	2,799	△ 905	△ 24.5	40,662
V 営業外費用	45,696	73,947	28,251	61.8	71,068
経常利益	3,038,126	2,939,030	△ 99,096	△ 3.3	4,406,522
VI 特別利益	—	50,800	50,800	—	—
税引前四半期 (当期)純利益	3,038,126	2,989,830	△ 48,296	△ 1.6	4,406,522
税金費用	1,247,006	1,229,640	△ 17,366	△ 1.4	1,799,443
四半期(当期)純利益	1,791,120	1,760,190	△ 30,929	△ 1.7	2,607,078

(3) (要約) 四半期株主資本等変動計算書

当四半期（自 平成18年11月1日 至 平成19年7月31日）

（単位：千円未満切捨）

	株 主 資 本					純 資 産 合 計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
平成18年10月31日 残高	1,584,000	1,338,350	8,997,646	△ 595	11,919,401	11,919,401
当四半期中の変動額						
剰余金の配当	—	—	△ 168,997	—	△ 168,997	△ 168,997
剰余金の配当（中間配当額）	—	—	△ 168,997	—	△ 168,997	△ 168,997
当四半期純利益	—	—	1,760,190	—	1,760,190	1,760,190
自己株式の取得	—	—	—	△ 42	△ 42	△ 42
当四半期中の変動額合計	—	—	1,422,195	△ 42	1,422,153	1,422,153
平成19年7月31日 残高	1,584,000	1,338,350	10,419,842	△ 637	13,341,555	13,341,555

(4) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円未満切捨)

	前年同四半期 (平成18年10月期 第3四半期)	当四半期 (平成19年10月期 第3四半期)	(参考) 平成18年10月期
区 分	金 額	金 額	金 額
	千円	千円	千円
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期)純利益	3,038,126	2,989,830	4,406,522
減価償却費	31,934	37,852	46,203
引当金の増減額(減少：△)	30,928	△ 54,592	35,726
受取利息及び受取配当金	△ 283	△ 565	△ 399
支払利息	35,319	73,235	60,549
たな卸資産の増減額(増加：△)	△ 4,386,736	2,669,910	△ 5,445,102
前渡金の増減額(増加：△)	△ 684,386	419,455	△ 502,270
その他流動資産の減少額	34,679	535	16,257
仕入債務の増減額(減少：△)	171,781	△ 781,293	1,018,877
前受金の増減額(減少：△)	70,629	△ 54,840	69,250
その他流動負債の増加額	83,915	38,070	98,283
その他	16,108	△ 22,728	25,766
小 計	△ 1,557,982	5,314,870	△ 170,335
利息及び配当金の受取額	283	565	399
利息の支払額	△ 40,422	△ 73,716	△ 65,287
法人税等の支払額	△ 1,600,100	△ 1,944,360	△ 1,600,123
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,198,222	3,297,358	△ 1,835,347
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 162,476	△ 35,975	△ 180,624
投資有価証券の取得による支出	△ 40,000	—	△ 40,000
その他	△ 18,762	△ 13,891	△ 23,186
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 221,238	△ 49,866	△ 243,811
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(減少：△)	5,931,100	△ 2,294,000	4,973,100
配当金の支払額	△ 399,715	△ 327,530	△ 420,862
その他	—	△ 42	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,531,384	△ 2,621,572	4,552,237
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—
V 現金及び現金同等物の増加額	2,111,923	625,919	2,473,078
VI 現金及び現金同等物の期首残高	5,185,262	7,658,340	5,185,262
VII 現金及び現金同等物の期末残高	7,297,185	8,284,260	7,658,340